



～ワクワク Wellness ～

あんかけ麺がとても熱く、唇にそれが張り付き水ぶくれから、今やっとかさぶたになり始めたところの佐藤智江です。食事はとても美味しくいただきましたよ(^_-)☆

先月、第一号のワクワク wellnessにかなりの方が反応を示してくださり、本当にありがとうございました。初めてのことで少し内心ドキドキの発行でした。

感想をいただけるまでは、完全に氣は上がりっぱなしの状態でしたが、いただいた声にとっても力が湧いてきて、元気100倍になりました。

さて、今月は『氣』のことを少し、お話ししようと思います。

「気分」「空気」「気持ち」「気まぐれ」「天気」等々、まだまだ日本語には「氣」という単語・言葉がたくさんありますね。証明はできないけれどもな～んとなく感じてはいたのでしょね。

まず、その漢字なのですが『氣』と『氣』という字があります。氣は氣の旧字体で、なんか氣の方がかっこいい！というわけではなさそうです。きがまえの部首の中に、八方に広がる米という字のあるものと、夨る（しめる）という字のあるもの。外に広がっていくのか、内に収まっていくのか真逆の事なのです。

また、心と氣の違いは？心は「あなたの心」「心の拠り所」などの使い方もわかるように、所有者が決まっていますそれはある一点に向けられ『氣』に近い感じですが。



それに対して八方に広がる『氣』の方は、「天地大自然の氣」という使い方のように、所有者のあるものではありません。私たちは大自然の一部であり、「氣」を通じてつながっています。自然と私たちが氣でつながっている状態、「氣が通っている」のが本来あるべき姿です。なんらかの原因でそのつながりが失われると、「氣が滞る」という状態です。

私が教わる合気道ではこの氣の性質を「海のなかの水を手で囲むようなもの」と説明されます。

手の内側にある水は、「自分の水」といっても良いかもしれませんが。しかし実際には、それは海の水です。海水のごく一部を、自分の手で囲っているに過ぎません。

もし誰かが、手にした水を「自分の水だ」と捉えて、手の内と外で水の行き来をできなくすると、手の中の水は次第によんでしまうことでしょう。これに対して「これは海の水を手で囲っているに過ぎない」と捉えて、水の行き来を保っていれば、手のなかの水が悪くなることはありません。

「氣」もまた同じです。

私たちは、大自然の氣を「私」という存在で囲っているに過ぎません。自分の中にある氣は、なるほど「自分の氣」「私自身」といって良いかもしれませんが。しかし実際には、それは大自然の氣なのです。

氣が通っている状態を「元氣」といい、氣が滞っている状態を「病氣」といいます。病氣のように見えて、氣はとても元氣の方もいらっしゃるね。その方は病氣なのではなくただの、病（やまい）です。そして寿命を終えて「自分」という囲いがなくなると、大自然の氣に還っていきます。

このように考えると、私たちの命は、大自然の氣から生じ、大自然の氣に還るといえるのでないでしょうか。私の中身の氣もあなたの中身の氣も、生きとし生けるもの元は皆同じ大自然の氣だと。

来月はこの『氣』の活用法へとつづきます

【今月の付箋】 成功の秘訣は氣にあり

著：藤平光一

八海山
ある以上、天地と一体となる前に、まず心と身体を一致させることが、すべての基礎となる。

その自然の力、それがすなわち(③)なのである

- ① 自然現象 ② 人間の力 ③ 『氣』

盲かつ、人間は目力達りの力の限界を知つていた。いくら一生懸命やっても、例えば暴風などが来れば、田畑は一瞬にして荒らされてしまうし、あるいは火山が噴火してもどうしようもない。天変地変、あらゆる(①)に対しては、所詮(②)など及ぶところではないという事を、世界中、誰もが知っていたのだ。

母親が子供に氣を送っていなければ、子供の(①)も返ってこない。子供が欲しているのはお金などではなく(②)なのである。この氣の交流が断たれた悲しい状態を、親子の断絶というのだ。

そこでその力に対して、さまざまな宗教もできたし、信仰もあった。つまり、時代や地方によって文化や宗教の違いはあっても、世界中の人間が全部認めざるを得なかったが、唯一、自然の力だったというわけだ。そもそも人間がこの世で最高のものだなどと思つた事は、実は歴史上、一度も無かつたのである。それは物質文明全盛の時代でも同じ事で、人間以上の力、大自然の力の恐ろしさは誰もが感じているはずだ。

仮に千里も離れた他人でも、(③)者同士には断絶はあり得ない。昔の人は自然にそれを知っていた。だから道端の地蔵でも、遠くの知人の無事を祈って一生懸命に拝んでいたのである。

- ① 氣 ② 親の氣 ③ 氣がつながっている

【お知らせ】 *自転車の空気入れあります！ご入用の際にはお声がけくださいませ♪

- *11月24日(木) はセミナー参加の為 13時までの営業とさせていただきます
- *11月25日(金) は護摩行の為 18時からの営業とさせていただきます
- *11月28日(月) は護摩焚きの為 18時までの営業とさせていただきます
- *11月28日(月) 20時より当院にて護摩焚きをいたします。ご家族、ご友人お誘いあわせの上ご参加ください(会員でない方もぜひ！但し神事の為、喪中の方のみ不可)

毎月28日に当院にて護摩焚きをいたします。お護摩祈禱とは、護摩木という薪をたいしてその燃え上がる炎と煙によって、私たちの煩惱を焼き浄め、大厄を消除し家内安全、商売 繁昌、健康長寿、世界平和など、私たちの諸願成就をお祈りするものです



先日、お休みをいただいて、新潟 八海山の大火渡り祭に行かせていただきました。ご不便おかけして申し訳ありませんでしたm(_)_m



大火渡り 前夜祭のあとのスナップ写真です。法螺貝の名人とのツーショット。日本で3本の指に入る方で、恐れ多い事なのですが、快く応じていただきました♪

